



かみねっちょ新聞

かみね動物園は
今年で60周年!

平成29年 12月号

どうぶつのお話



今日は

ワタボウシパンシエ

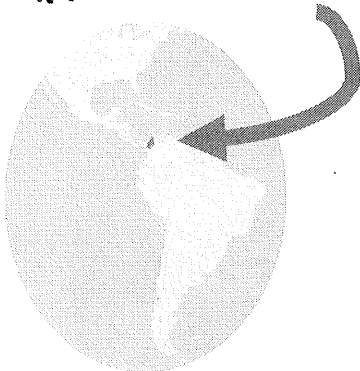
まるで「ワタボウシ」のような
長くて白い毛が頭にあります!!

子育てに注目!!

ワタボウシパンシエと言えば、その子育て
方法がおもしろい!! ヘルパー制度を
もっており、母親だけでなく、父親やその
子ども(兄弟)も子育てに加わります。



コロンビア
北西部に
生息しており、現在は
絶滅が心配されています。



赤ちゃんが生まれてしばらくたつと、父、兄弟
が運ばんを手伝い、授乳の時に母親の
もとにもどるのです。お母さんも大助かり!
また、双子と聞くとなんだかめずらしい気も
しますが、ワタボウシパンシエの場合は1産2仔
で生まれることが多いです。かみね動物園
でも今年9月に双子の赤ちゃんが生まれました!
家族が協力して子育てをしており、スラスラと成長中です。
サルの楽園にいますので、ぜひみに来てください!!

園長のひとこと

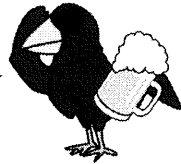
動物園では、毎朝外で朝礼をする。ある日のこと、突然空からの部外者が朝礼に参加した。鳩だ。職員が輪になった真ん中で、クッククッと歩き回り、逃げようとしな。園にはドバトが勝手にやってくるが、様子が違う。よく見ると脚環が。レース鳩だ。とりえず捕まえ、脚環に書かれた番号に電話すると、飼主は飯田市の方と判明。秋田から飛ばしたものの折からの低気圧の影響で帰れなくなっらしい。一応預かり、レース鳩専門の運送業者に搬送してもらうことに。

ン？待てよ。レース鳩は元々ドバトの原種であるカワラバトを改良して通信などの手段に使ったもの(日本鳩レース協会)。類まれな帰巢本能を利用してレースを行っているわけで、てことは、ここから飛ばしても帰るかも。飯田まで直線で280km。この距離でトップクラスだと約4時間だ。うちの飯田なら行くぞ(ゴメン、楽屋落ち!)「秋田より近いぞ、行けっ！」的気持ちガムラムラと湧き上がる。ケガもないし、餌を食べ体力つけて放鳩したら、さてたどり着くのか?……否!知人で鳩レースやってる専門家に聞いたら、一度迷うとほぼ戻れないとのこと。翌日、レース鳩は空を飛ばず、車に乗ってオウチへ帰って行ったのです。

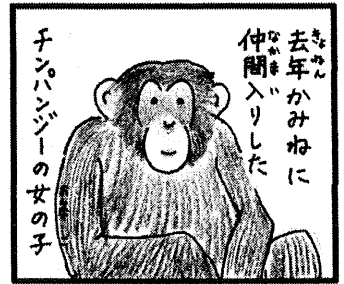
こんな迷い鳩、「もう帰らねーもんね」と公園や神社に結構まぎれてるかも。

後日、飼主さまから無事到着御礼の連絡がありました。なお動物園では迷ったレース鳩のお預かりはしていません。脚環を確認し、飼主か協会へ連絡してね。

ビール科エンチョウガラス



「イチゴちゃん」なめかわまい作



1月の予定

- ☆新春動物園カルタ大会 13(土)・14(日)
- ☆動物への年賀状展示 2(火)~31(水)



詳細はかみね動物園ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>
または 0294(22)5586 までお問い合わせください

もぐもぐタイムの時間

注意：時間変更・中止になる場合もございます。

は見学のみ

(平日)

- 11:00 ペンギン
- 11:30 キリン
- 13:00 マンドリル
- 13:15 カピバラ
- 13:30 チンパンジー
- 14:00 ソウ
- 14:30 エゾヒグマ
- 15:15 ライオン
- 15:30 ペンギン

(土日祝)

- 10:00 ソウ
- 11:00 ペンギン
- 11:30 キリン
- 13:00 マンドリル
- 13:15 カピバラ
- 13:30 チンパンジー
- 14:00 ソウ
- 14:30 エゾヒグマ
- 15:00 ポニー・シマウマ
- 15:15 ライオン
- 15:30 ペンギン

※ソウ・エゾヒグマのおやつタイムは水曜日はお休みします。